

プロタッグ経営実践塾 受講お申し込み書

開催概要

- 塾頭／澤邊 紀生〈京都大学教授〉
- 主催／総合経済京滋税理士協同組合
- 共催／税理士グループ プロタッグ
NPO 法人 ジャパンタックスエデュケーションクラブ
- 受講対象者／経営者、後継経営者
- 定員／40名（先着申し込み順）
- 受講料金／157,500円（税込）
- 講義内容／本パンフレット中面に記載
- 開催予定日時／第1回 2011年 6月15日（水）18:30～21:00
第2回 2011年 7月20日（水）18:30～21:00
第3回 2011年 8月10日（水）18:30～21:00
第4回 2011年 9月15日（木）18:30～21:00
第5回 2011年 10月12日（水）18:30～21:00
第6回 2011年 11月16日（水）18:30～21:00



開催会場のご案内

■ 会場／京都タワーホテル

京都市下京区烏丸通七条下ル東塩小路町 721-1
JR 京都駅正面
TEL.075-361-3212
*ご来場の際は、公共交通機関をご利用下さい。

下記条件に同意の上、「プロタッグ経営実践塾」に申し込みます。

- 受講料金は、請求書発行後の翌月末までに全額、主催者の指定する銀行口座にお振り込みください。一旦払い込まれた受講料金は、「プロタッグ経営実践塾」が主催者側の都合で開催されない場合を除き、返金いたしません。
- ご案内している開催日、会場、講師、プログラム内容は予定です。事情により一部変更になる場合があります。その際は、事前に事務局よりご連絡いたします。

必要事項をご記入の上、下記FAX 又はインターネットからお申し込みください。後日、主催者事務局から「受講券」と「請求書」を発行いたします。

お申し込み日		月	日
受講料金			
157,500円（税込）			
お名前	(ふりがな)	年齢	
	(姓)	(名)	歳
*下記住所へ受講券をお送りいたします。			
ご住所	〒□□□□□□□□		
勤務先			
所属			
お電話番号	() -	FAX	() -
E-mail	@		

個人情報保護方針 ご記入いただいた情報は、今回の「プロタッグ経営実践塾」の申し込み関連のみに使用し、外部等に提供することは一切ございません。

お申込先

総合経済京滋税理士協同組合 経営実践塾事務局
FAX 075-351-7789 TEL 075-366-0300
URL <http://www.protaag.com/>

●FAX・インターネット…24時間受付 ●TEL…平日のみ受付・9:00～17:00

プロタッグ 経営実践塾

経営者・後継経営者対象 受講生募集



2011年6月 **全6回** コース 開講

主催：総合経済京滋税理士協同組合

共催：税理士グループ プロタッグ
NPO法人ジャパンタックスエデュケーションクラブ

こんな「経営者」と「後継者」をお待ちしています！

- 経営の仕方を習ったことがない。
- 経営者に日々降りかかる難題にどう対処すればいいかわからない。
- 分かっているようで分らない、今さら聞けない経営方法。
- 友人の会社がどこかおかし。
- 気がついたら後を継いで社長になっていた。
- いつ引退したら良いのか迷っている。
- いざとなったらどこに相談すれば良いのか分からない。
- 会社の事を考えると眠れない日がある。

講義とグループセッションにより、理論だけではなく実務に即したノウハウを習得していただけます。

ご挨拶



プロタッグ経営実践塾の塾頭を仰せつかった関係で一言ご挨拶申し上げます。
経営実践塾の趣旨は、次代になう経営者を養成し、地域経済の活性化をはかり、ひいては活力ある日本社会の実現に貢献しようというものです。そのために、この経営実践塾では、受講者のみなさんに経営者として必要な知識と心構えをそれぞれの専門家の先生方から伝授していきます。激変する現代社会のなかで、経営者のみなさんが果たさねばならない役割はこれまで以上に大きくなっています。日本社会には「御興は軽い方が

良い」などとリーダーの役割を矮小化して捉える傾向があります。これは不幸なことです。リーダーの能力によって組織や社会は大きく変わります。優れた経営者は、従業員の能力を最大限引き出すことができる存在であり、優れたリーダーに率いられた集団には活気が生まれます。活気ある集団は社会に生き甲斐をもたらします。この経営実践塾に参加されることで、受講生のみなさんが経営者として成長し、活力に満ちた社会が生まれることを願っております。

塾頭：澤邊紀生〈京都大学教授〉

Curriculum [カリキュラム]

第1回

【開催日】
6月15日(水)
18:30~21:00

第1部「経営の本質」

講師：澤邊 紀生氏〈京都大学教授〉

経営の本質と、存続のポイントを探ります。

「経営の本質とは何か」について、時代に応じて変えるべきところと、時代を超えて堅持すべきところを考えます。成功している企業は成長を続けるものです。成長のなかで経営者に求められる役割は変わってきます。また、企業の成功パターンは経済環境に適応して形成されますが、環境変化は古い成功パターンを陳腐化してしまいがちです。成功体験にとらわれることでかえって失敗してしまうという「勝者の罠」から免れるためには、環境変化への対応力を向上させ、組織の成長に応じた経営者の役割を理解する必要があります。組織の成長段階に応じた経営者の役割と、経営環境の変化のなかでの経営の課題を考えることで「経営の本質」に対する理解を深めます。

第2部 懇親会

第2回

【開催日】
7月20日(水)
18:30~21:00

第1部「財務分析」

講師：國場 淳氏〈税理士〉

決算書を徹底して読み解く。

将来を予測することは経営に必要不可欠です。決算書は過去のデータですがこれを分析すれば将来が見えてきます。決算書の仕組みとすぐ実務に使える財務分析について紹介します。

第2部「経営計画」

講師：高山 範雄氏〈株式会社MAP経営代表取締役会長〉

経営計画なくして事業経営なし。

経営計画には、会社の課題が明確になっていてそれを解決するために実践する経営計画(対症療法)と経営体質を強化するための経営計画(根本療法)の二つがあります。この二つの経営計画を有効に活用できる経営者が成長企業を作り上げることができます。

第3回

【開催日】
8月10日(水)
18:30~21:00

第1部「社会保険・労働保険、労務人事管理」

講師：國場 要氏〈社会保険労務士〉

戦略的の制度活用と人事管理。

労務に関するトラブルは、解決に多大な時間と労力を要することが多々あります。企業をトラブルから守るために知っておきたい法律を解説します。

第2部「労働問題対策」

講師：岡崎 隆彦氏〈弁護士〉

当社に労働組合ができた。その時どうする。

近時、一人でも入れる労働組合への加入・団交申入(介入)が多くなり、対応に苦しむ企業が急増しています。対応を誤ると、「不当労働行為」として糾弾され、抗議行動による業務への大きな支障が生じます。早期に専門家の助言・指導を得る態勢作りが急務です。そこで、組合対応の基礎知識と専門家活用の方法について、わかりやすくお話しします。

第4回

【開催日】
9月15日(木)
18:30~21:00

第1部「資金調達」

講師：高田 一富氏〈日本政策金融公庫〉

金融機関から見た資金調達のポイント。

企業経営はリスクをとって利益を求めめる活動ですが、金融機関の融資は、預金者に代わってリスクを負担している活動です。つまり、資金調達を理解するには、こうした立場の違いを踏まえることが有用です。そこで、前半は金融機関の立場から見た信用調査のポイントについて、「資金使途の妥当性」、「企業の維持力、将来性」、「債権保全の確実性」という3つの側面から話をします。特に、企業の返済能力では「過去」、「現在」、「未来」の3つの時間軸から、経営者理念や知恵という目には見えないものも見極めます。後半では、「こういう企業に融資したい」と思える経営者像について、融資の現場で感じる経営姿勢について経験談を交えて伝えたいと思います。結びに、観光大使の経験から「金融を通じて人や地域を結び橋渡し」の一例として、転動地で見られた光(地域の誇り)と活動について紹介します。

第5回

【開催日】
10月12日(水)
18:30~21:00

第1部「内部統制」

講師：木村 敏之氏〈税理士〉

強く、正しい組織を構築する方法を習得。

不正やごまかしは何故起きるのか、どうすれば防げるのか、さまざまな事例を交えて、不正やごまかしを防ぐための、社内の管理・点検体制についてお話しします。

第2部「リスクマネジメント」

講師：内山 正元氏〈弁護士〉

反社会組織からの要求、横領など、いざというときに困らないために。

社内であっては、各種ハラスメントや就業規則違反、ひいては懲戒事案が発生したときの公正な処理が求められる。社外では、取引先の未払いなど各種トラブルの発生、消費者からのクレーム、まれには反社会組織からの不当要求に適応に答えなければならぬ。対抗措置を誤ると、実害の発生や信用の低下にとどまらず、会社の存亡の危機に瀕する事態となりかねない。代表的な事例にあたりながら、会社として、どのようにトラブルに対処すべきか、未然に防止する方法があるのかを考えてみたい。

第6回

【開催日】
11月16日(水)
18:30~21:00

第1部「財産承継」

講師：横江 泰彦氏〈税理士〉

株式の相続、相続税と贈与税、分配方法など財産承継のポイントを解説。

経営者が後継者に経営権を譲るためには、経営者が持っている財産を後継者に承継させることが必要不可欠です。しかしながら、総称をして「財産承継」と言いますが、その財産の種類は、株式、不動産、預金など多種多様です。これらの財産を、いつ、どのような方法で承継させるかによってその後の結果が全く違うものとなります。承継のタイミングや方法を誤ると、経営者がハッピーリタイアメントを迎えられないばかりか、後々の企業経営に影響が出ることになりかねません。ここでは、経営者、後継者、それぞれが抱えている「財産承継」に関する問題とその解決方法を、税金のことを視野に入れながら考えてみたいと思います。

第2部 修了式と懇親会

Profile [講師プロフィール]



第1回第1部担当 澤邊 紀生氏

京都大学経済学部卒業、博士(経済学)。ストックホルム・スクール・オブ・エコノミクス客員研究員、立命館大学助教授、九州大学助教授を経て、2007年より現職。2007年よりニューサウスウェールズ大学(オーストラリア)客員教授。日本企業の経営管理の仕組み解明にむけて研究を行っている。「アミーバ経営学—理論と実践—」(共著、「戦略をコントロールする」(監訳編著、中央経済社、2008年)、「次世代管理会計の構想」(共編著、中央経済社、2005年)、「会計改革とリスク社会」(岩波書店、2005年)、The Japanese Style of Business Accounting(Quorum、1999、chap.1)など執筆。



第2回第1部担当 國場 淳氏

専門学校で税法、簿記の講師を務めた後、1992年に税理士登録。現在はプロタッグ・パートナーズ税理士法人國場事務所代表。



第2回第2部担当 高山 範雄氏

中小企業経営者に「先見経営・先行管理」の仕組みを提供するため、日本一の経営計画サポートの専門集団を目指す。



第3回第1部担当 國場 要氏

1996年社会保険労務士登録、2008年特定社会保険労務士登録。現在は、社会保険労務士として開業し、また、プロタッグ・パートナーズ税理士法人に所属。



第3回第2部担当 岡崎 隆彦氏

京都大学法学部卒業。大阪弁護士会所属弁護士。企業の顧問弁護士として、相談・処理の他、事件の原因分析と企業体質の改善指導を行う。得意分野は人事労務、契約・信管理、クレーム対応の指導等。



第4回第1部担当 高田 一富氏

1955年生まれ。1999年から公庫の支店長として佐野(栃木)、函館、厚木、池袋に勤務し、昨年8月京都支店に赴任。政策金融に携わりながら、2003年から「はこだて観光大使」として、人や地域を結びカタリストを目指して活動中。



第5回第1部担当 木村 敏之氏

1988年税理士登録。税理士グループプロタッグのメンバーとして地域NO.1のコンサルティングの提供を目指しています。



第5回第2部担当 内山 正元氏

同志社大学法学部卒業。昭和50年弁護士登録。平成1年京都弁護士会副会長、同5年人権擁護委員、同8年民事調停委員を務める。現在、弁護士会の他、労務局、社会保険労務士会、土地家屋調査士会において示談斡旋を担当している。紛争が大きくなる前の解決方法のあり方の研究、実践に力を注ぐ。



第6回第1部担当 横江 泰彦氏

1996年に税理士登録、父と共に税理士事務所を営む。2010年事務所を法人化し、税理士法人よこえ会計事務所代表社員となる。講師自身が税理士事務所の後継者であり、現在、後継作業を実践中である。